

1. 公開保育の参観、ありがとうございました☆(^O^)

スタカリだより13号では、幼稚園の1日を紹介しました！今回、スタカリだより14号では、幼稚園の教室環境と午後に行われた保育研究会の様子を紹介していきたいと思います！そして、公開保育に参観された先生方、保育参観して頂き、ありがとうございます☆別紙の「公開保育に参観して」は、まだまだ受付中です♪（笑）先生方の気づきを、幼稚園にも共有していきたいと思えます！宜しくお願いします☆

2. 幼稚園の教室環境

◇教室環境



運動会シーズン！子どもたち手作りの国旗で教室がにぎやかに飾られてました☆



秋コーナーでは、マツボックリやどんぐり、ススキ等、実物を紹介♪



ハンバーガー屋さんのセットを見付けました～！



壁面には、運動会の絵が掲示♪作品表には、子ども達の「〇〇してたのしかった」とコメントが添えられていました☆



道具がバッチリ準備！

3. 保育研究会

◇グループ協議



グループ協議では、幼稚園、保育園、こども園、小学校の先生が各グループに分かれ、二つの協議を行いました。1つ目は、「保育参観をしてよかったところ、感じたこと、気づいたこと」2つ目は、「園児



の遊びを『幼児期の終わりまでに育ててほしい姿』に振り返って共有」しました♪それぞれの視点で、共有することで、新たな発見・気づきがあり、とても有意義な時間となりました！

◇グループ協議で話したこと



保育参観をしてよかったところを出し合っていくと、「子どもが好きな遊びを楽しんでいた（子どもの姿）」「子どもの想いや願いを大事にしている（教師の関わり）」「子どもの想いや願いから環境を整える（環境の構成）」と繋がっていることに気づきました。また、幼稚園と小学校が近くにあるからこそ、「憧れから、やってみたい！」となり、まねっこから再現遊びへと繋がります。

さらに、1つの経験でも発達段階において、感じ方が違うので、子どもの想いや願いを大事に取り組んでいくことが大切だと、グループで協議することができました。

◇保育の振り返り

もも組の波平あかね先生、ゆり組の金城睦子先生、ばら組の神里友貴美先生から保育の振り返りがありました。

形が合わないマットと合うマットに気づき、お家作りが始まった。トラブルもあったけど、友達との関わり合いがたくさん見られた。帰りの会では、子ども達の積極的に「話したい」姿がよかった！

とても楽しかった☆
ばら組（年長）
神里友貴美先生



教室環境では、昨日までの遊びの続きができるようにした。遊びから「〇〇を作りたい！〇〇をやりたい！」と思えるようにした。異年齢の関わりで、貸し借りしたり、ルールを守ったり、協力する姿が見られた。

もも組（年少）
波平あかね先生

デザート屋さんでは、「お客さんが来ない～」ということで、サービスする？お金を作ろう！と発展！お店の人の関わり方は、絵本の読み聞かせをして学んでいます。

ゆり組（年中） 金城睦子先生

◇指導助言：沖縄女子短期大学児童教育学科 講師 名渡山 よし乃



講師のよし乃先生からは、「指導案」「幼児期において育みたい資質・能力とスタートカリキュラム」「研究テーマに向かうために」の3つの視点でお話しされていました。1つ目の「指導案」では、「チーム保育で共通理解ができている。異年齢の関わりが見える。この遊びではどんなことを育てたいか、保育教諭の願い、教育的意図がある。」等、幼稚園のきめ細やかな週案、指導案について学びました。2つ目は、「幼児期において育みたい資質・能力」と「スタートカリキュラム」についてです。スタートカリキュラムを教科に落とし込むとこと、「スタートカリキュラム」を通じて、幼児期に総合的に育まれた「見方・考え方」や資質能力を、徐々に各教科に等の特質に応じた学びに繋げていく。ということ学び、再確認することができました。3つ目は、園内研修のテーマ「幼児期の発達と学びの連続性を考慮した小学校教育への円滑な接続を図る～保幼小の学びの連続性を通して～」に向かうために具体的にお話しされていました。「学びの連続性を考慮した」では、子どもの「やりたい！」という想いを大事にすることで、自分に自信をつけたり、自己肯定感を高められたり、等これらは、「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」の中にたくさんある。ということでした。小学校でも子どもの想いや願いから学びの連続性を深めていきたいと思いました。